

探究・校務改革  
支援補助金  
2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して



# 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社トモノカイ

【サービス名称】

探究メンターサポート

探究メンターサポート(入門編付き)

【サービスの支援項目】

カテゴリ-1 探究的な学びの高度化 メインサービス



2026年1月

## ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

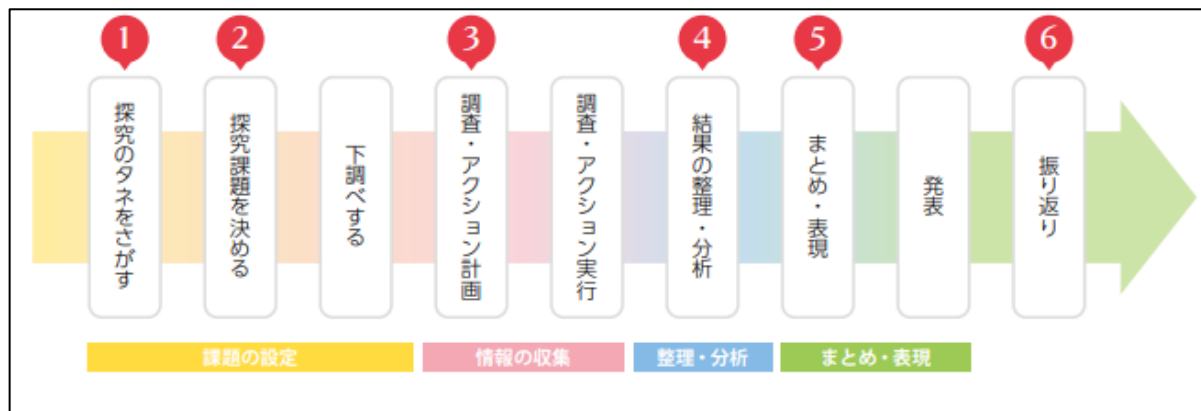
### 1. サービスの概要、特徴

「総合的な探究の時間」において、**先生方の負担を軽減しながらも全ての生徒が最後まで探究活動を走り切れるように、探究メンター®によるサポートを実施しています。**

サポートの実施内容/タイミングは学校ごとのカリキュラムに合わせて**カスタマイズ**を行っております。

#### ※探究メンター®とは？

弊社に登録している約12万人の大学生・大学院生の中から「自身の探究/研究の経験を生徒に還元したい」という想いを持つ学生を厳選選抜・育成し、探究メンター®として生徒の探究活動に伴走支援しています。



1

探究テーマを決める前に、探究メンターが自身の探究/研究経験をお伝えする**テーマハッカソン**



2 3 4 5

生徒だけでは深めることができないポイントに対しては**専門性がマッチした探究メンター**が伴走支援



6

探究成果発表会では、探究メンターから**フィードバック**を実施



## 1. サービスの概要、特徴

### (1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

本サービスのオンラインメンタリングでは、「論点の提示」「仮説の提示」「選択肢の提示」「初期方向性の提示」という4段階フィードバックを実施できるように、探究メンター®の厳選選抜・育成を行っております。また、400名以上の探究メンター®が在籍しており、生徒の探究テーマにマッチングしたメンターの配置が可能となっています。

### (2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

探究報告や相談事項に対し適切なフィードバックが必要ですが、教職員の人的/時間的リソースから十分に実施することは難しいです。この課題に対し、本サービスでは、十分に研修を受けた探究メンター®による個別フィードバックを実施することで、単位時間あたりのサポート可能時間が増加し、教職員の人的/時間的リソースに関わらず深い探究的な学びを行うことが可能になります。

### (3) サービスの活用場面

主に「総合的な探究の時間」内でサービスの提供を行っています。

### (4) 1サービスあたりの標準販売価格

生徒1人あたり7,000円(税抜) ※弊社社員による伴走支援も含まれておりますため、基本料等の導入にあたっての追加費用は一切かかりません。

## 2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

弊社のプログラムディレクター(PD)が学校担当として伴走支援致します。

学校が探究活動において抱えている、専門領域の知見不足や物理的な時間不足、フィードバックの機会不足などの課題に対して探究メンター®などの外部人材が伴走支援を行うことにより、解決を目指します。

### 児童生徒・教職員が抱える課題

①探究学習における個別探究のテーマ設定に対して、教員では踏み込めず画一的なフィードバックになってしまう

⇒**広範囲のテーマによる専門領域の見識不足**

②教員が調べて対応したいが生徒全員に個別対応をする時間も取れない⇒**物理的な時間不足**

③調べ学習としてのフレームワーク（調べ方）を伝えることはできても、探究学習のテーマに対するフィードバックを定期的に行えないため、探究がもう一段回深まっていくというブレイクスルーが起こりづらい

⇒**定期的な問いとフィードバックの機会不足**

### サービスが果たす役割

①約400名以上の探究メンター®から生徒のテーマに合わせたマッチングの実施。

より専門的なフィードバックが必要な場面では、テキストサポートの実施。

②探究メンター®が面談の事前事後準備含めて対応。面談記録をお渡しすることで、先生は個別対応が必要な生徒のピックアップが可能に

③探究メンター®とのメンタリングを生徒にとってのマイルストーンとすることで、これまでの探究成果を振り返り言語化する機会に。

また、メンタリングでのフィードバックを基に探究をより深めていく活動が可能に。

# ■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

## サービスの活用風景・授業の流れ

### ● 教室でのオンラインメンタリングの様子

弊社社員もZoom上に入り運用のフォローを実施。

教員の監督は最小限に留めることで、働き方改革にも寄与



### ● 面談記録

オンラインメンタリングでの面談記録を弊社社員が点検の上返却。今後に向けたアドバイスもお渡しすることで、先生方の専門領域の見識不足・物理的な時間不足を解消。

探究課題	生徒の進捗、疑問点・課題点	アドバイス・フィードバック	生徒のネクスト
パラオでの汚水の浄化方法について	★進捗 スライドから進捗は進んでいない様子であった。 パラオに行ったときに具体的に何をやるのかはまだ決まっていない。 ★疑問点・課題点	★疑問点・課題点に対してアドバイスしたこと 一度自分の研究内容をやってみようことを企画書のようにまとめ、光触媒で水の浄化を行っている企業（パナソニック）や大学に連絡を取ってみることをおすすめする。化学に関する探究は学校でやるには限界があるため、積極的に外へ自分のやりたいことを伝え、周りを巻き込ん	★次回までに実施すること パラオに行って、具体的に何をしたいかが決まっていこう。 また、施設など見学やお話を聞きに行く際は事前にアポを取っておくとスムーズである。 ★どのように実施するか
ルッキズムは思春期の子どもの幸せの定義の形成に影響を与えているのか	★進捗 スライドから進捗は進んでいない。 パラオに行ったときにはインタビュー（アンケート）を行う予定。 ★疑問点・課題点 日本、ニュージーランド、パラオの3か国でア	★疑問点・課題点に対してアドバイスしたこと その3か国のなかで、一番人数が少ないデータに合わせることは可能かどうか。日本が一番多いのであれば、もう一度アンケートを別の人にとって見てはどうか。また、国ごとの傾向を知りたいのであれば、人数は表示する必要はあるものの、そこまで厳密にそろえる必要はない	★次回までに実施すること パラオで実際に何をしたいかをもう少し具体的にしていく。（いつどこでどのような範囲で、人数でアンケートを行うのかや、インタビューを取るとしたらどこに行くのかなど） ★どのように実施するか
ユニバーサルツーリズム ～みんなが旅行を楽しむために必要なものは～	★進捗 スライドから進捗は進んでいない様子。 仮説は立てることができているものの、パラオに行ったときに何をやるかはまだ明確には決まっていない。 ★疑問点・課題点	★疑問点・課題点に対してアドバイスしたこと 自分かげがをして、そのような悩みを抱えたことがあるという背景から探究を進めることができているところが素晴らしい。松葉づえでの観光はしたことがあるらしく、私からぜひ申しただけでパラオを観光してみようかと伝えた。歩行困難、特に車いすの方にとっての何が	★次回までに実施すること パラオに行った時の実際に何を調査したいかを具体的に決めること。特に車いすで回るのなら、どこを調査するのかマップ上でルートをひき、アポが必要そうなところは事前にとっておくこと。 ★どのように実施するか
環境に良い観光を目指すために、ゴミのポイ捨てを防止するための策とは	★進捗 スライドから進捗はさほど進んでいない様子。 パラオに行ったときに行う調査方法の具体的な内容はまだ考えていない。 ★疑問点・課題点	★疑問点・課題点に対してアドバイスしたこと 観光客の範囲について、まずは条件を決めておくべき。また、パラオの国民性や文化についても軽く学んでおくべきである。なぜなら、国によってごみを床に捨てるのが掃除の方の仕事を奪わずに済むという文化を持っている国（中国語の先生から授業中に聞いた話）もあるた	★次回までに実施すること 実際にパラオに行ったときに何をしたいかを具体的に考えてみる。また、何を達成したいのから逆算をしてみると考えやすい。 ★どのように実施するか 頭の中だけで構想するのではなく、ノートに書いたリドキュメントにまとめたりして、一度文

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	6	学校等教育機関数	7校
--------	---	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人正則学園	正則学園高等学校	東京都	高等学校	2	総合的な探究の時間
2	学校法人大阪医科薬科大学	高槻高等学校	大阪府	高等学校	2	総合的な探究の時間
3	釧路市教育委員会	釧路市立釧路北陽高等学校	北海道	高等学校	1	総合的な探究の時間
4	学校法人北陸大谷学園	小松大谷高等学校	石川県	高等学校	2,3	総合的な探究の時間
5	学校法人精華学園	精華高等学校	大阪府	高等学校	1,2,3	総合的な探究の時間
6	学校法人佼成学園	佼成学園中学校	東京都	中学校	3	総合的な学習の時間
7	学校法人佼成学園	佼成学園高等学校	東京都	高等学校	2	総合的な探究の時間

定量的効果検証

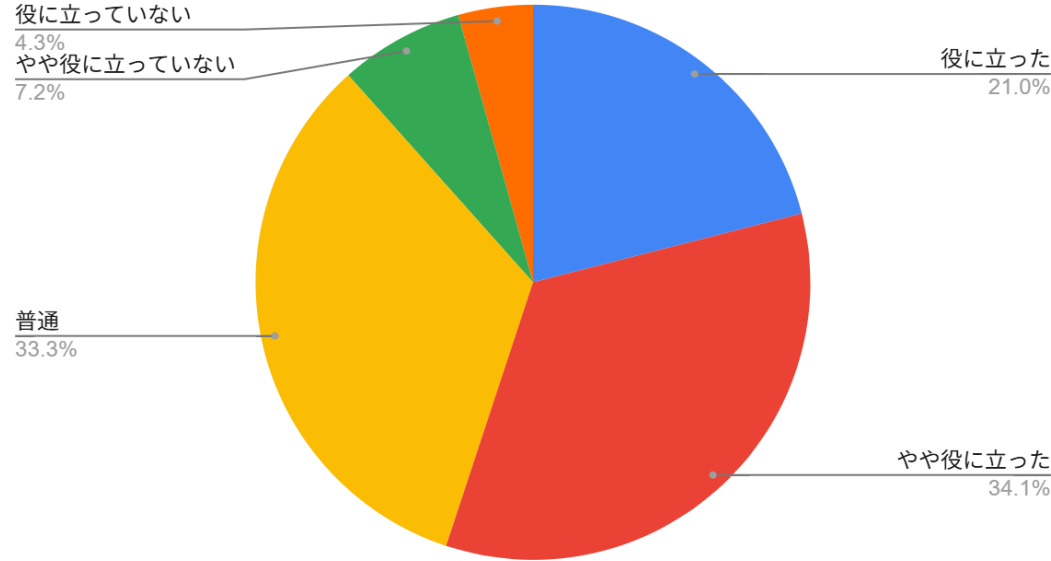
【生徒】

約6割の生徒がプログラム全体に満足/探究メンター®によるサポートが役に立ったと回答

【先生】

高槻高校様では物理的な時間不足解消により、生徒全員と1回以上の面談実施が実現。  
 (これまでは約半数の生徒のみの実施)

メンターによるサポートは役に立ちましたか？



回答パターン	件数	概要
アドバイス・ヒント・提案	92	探究の進め方や考え方、客観的な視点での助言
調べ方・文献探しのサポート	66	検索方法、資料の探し方、有用なサイトの紹介など
困った時・不明点の解消	54	わからないことへの回答や、改善点の具体的な指摘
接点が少ない・対応への不満	36	メンターとの接触が少なかった、または期待した回答が得られなかった
コミュニケーション・新たな視点	20	積極的な声掛けや、自分にはない価値観の提示
その他・肯定的	8	具体的な内容は不明だが「役に立った」という肯定的な回答

アンケートは12月にサポート対象生徒向けにGoogle formにより記名式で実施。(n=276)

## 定性的効果検証

専門領域の知見不足や物理的な時間不足、フィードバックの機会不足などの課題に対して一定の効果を確認。また、探究メンター®によるアドバイスにより探究の高度化に対しても効果を確認。

### 【生徒の声】

「自分では解決できなかった・思いつかなかったような方法を考えてくれ、研究を上手く進めることができた。また、結構大事な問題を見つけてくれ、研究が壊れることがなかった。」

→探究の高度化に寄与

### 【教職員の声】

「我々教員もアドバイスの仕方を参考にできました。何よりメンタリングをしてくれることで待機時間が発生し、その間にひとりひとりと面談できました。」

→物理的な時間不足、フィードバックの機会不足の両面で効果アリ

「生徒ひとりひとりにメンターさんに指導をしていただけ、課題研究の進行にとって、大変良かったと思っています。」

→専門領域の知見不足を始めとする課題に対して効果アリ

## 【生徒の声】

「最初から手厚くサポートしていただき、困難があったとき、的確なアドバイスや、論文を調べてくれたり新しい視点をいただけました。」

「毎回新しい視点に気づくことができ、とても勉強になるアドバイスをしてくださいました。」

「私が伝えた断片的な情報をきれいに整理して改善点や今後すべきことなどを明確にしてくださいのおかげでこれから進める研究も楽しみにになりました。」

「楽しく、そして貴重な時間でした。 探究はこれまで全くやらなかったのだからこれからわからないことがあったらしようと思います。」

「毎回新しい視点を得られてとても助かりました。 新しい視点で考えると視野が広がってとても楽しいです。研究する上で一つの視点にとどまって詰まってしまうとなかなか進めなくて去年はグループの中で意見を出し合うことでなんとか進んでいましたが、今年は1人だからなかなか次の視点を持つことが難しかったところをたくさん助けてくださってありがとうございました。とても勉強になりました。」

年度が始まってから採択結果が決まるため、既存の取組・スケジュールとの馴染ませ方に課題が見られた。

また、生徒にとって探究メンター®との面談がやらされになってしまっている状況も見られた。

直面した課題

課題①：限られたコマ数の中でオンラインメンタリング&テキストサポートをタイミングよく挟むための**日程調整が難航**した。

課題②：生徒にとって、**探究メンター®と対話する必要性を十分に感じてもらえず**、満足度にバラつきが見られた。

解決するための改善策

⇒申請時にある程度年間のスケジュールの見通しを先生と共通認識を持てるように打ち合わせの仕方を改善する。

⇒オリエンテーション等で生徒にとって有益であることをお伝えするなど、伝達の仕方を改善する。

## ■会社概要

社名	株式会社トモノカイ
代表	徳岡 臣紀
設立年月	2000年4月7日
本社	東京都新宿区四谷三丁目3-1 四谷安田ビル4階
資本金等	1,710万円
売上高等	非公開
従業員数	132名
事業内容	<p>&lt;学校向け事業&gt;  放課後支援事業：主体的に学ぶ力を育む「学習メンター®プログラム」の提供  グローバル教育事業：世界中の外国人留学生との英語交流プログラム「Power in Me」の提供  探究学習教材・オンラインコンテンツ事業「一生使える探究のコツ」「探究×SGDs」シリーズ</p> <p>&lt;塾向け事業&gt;  塾講師専門求人サイト「塾講師ステーション」「塾講師ステーションキャリア」の運営</p> <p>&lt;ご家庭向け事業&gt;  時代のニーズにあわせた家庭教師ブランドの展開（「東大家庭教師友の会」・海外子女向けオンライン家庭教師「EDUBAL」・プログラミング家庭教師「Tech Teacher」など）</p> <p>&lt;その他&gt;  教育に興味関心のある大学生向けサイト「t-news」の運営</p>

## ■お問い合わせ窓口

担当：西條（さいじょう）

電話：03-6756-8622

Mail：tankyusupport\_admin@m.tomonokai-corp.com